

文部科学省 平成22年~25年度 特別経費(プロジェクト分) 高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実

Project 地域活性化を牽引する地域イノベーション・コアラボの展開 —地域圏中核人材育成拠点の構築を目指して—

地域に貢献する人材養成と地域企業のための研究の場

地域イノベーション・コアラボは、大学院地域イノベーション学研究科に置かれた教育と研究のための共同利用ラボ*です。地域イノベーション学研究科の特徴的な教育方法の1つとして、地域の企業や研究機関との共同研究プロジェクトを題材としたOn the Project Training (OPT) 教育があります。このOPT教育によって、実践的な研究能力とプロジェクト・マネジメント能力を同時に修得した、地域に貢献できる高度人材を育成しています。このOPT教育を実現する場が地域イノベーション・コアラボです。平成25年度中には「地域イノベーション研究開発拠点」の新しい建物が完成し、より一層地域の皆様に貢献できる体制が整います。

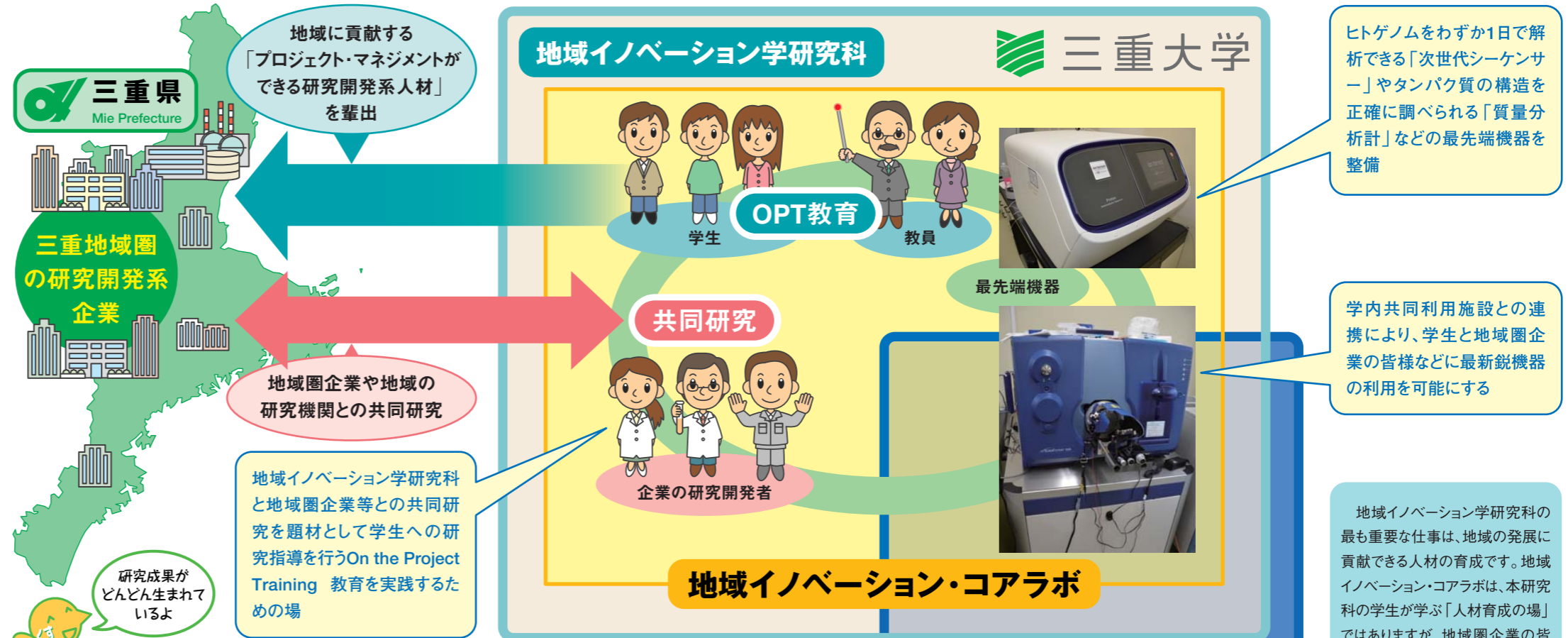
地域イノベーション研究開発拠点



mission 地域イノベーション・コアラボの3つのミッション

- ★ 「On the Project Training」教育の実践の場となる
- ★ 三重地域圏の企業等の研究支援ラボとして機能する
- ★ 学内外に最新鋭の研究用機器をいち早く利用できる環境を提供する

*ラボとは「ラボラトリー」の略。研究室。実験室



こんな研究成果が生まれます



健康にも良い野菜として注目されているトマト。さらに美味しく、病気に強く、収穫量も多くなるトマトの開発を目指して研究を進めています。地域イノベーション・コアラボの次世代シーケンサーを使えば「DNAマーカー」を効率的

浅井 雄一郎 平成24年度大学院地域イノベーション学研究科満了株式会社「浅井農園」代表取締役株式会社「オリザ」最高経営責任者

に開発でき、「究極のトマト」を生み出すのも夢ではありません。



学内共同利用施設

- 社会連携研究センター
- 生命科学支援センター



地域イノベーション学研究科の最も重要な仕事は、地域の発展に貢献できる人材の育成です。地域イノベーション・コアラボは、本研究科の学生が学ぶ「人材育成の場」ではありますが、地域圏企業の皆様の「共同実験室」でもあります。私どもが提供する最先端の研究環境とノウハウを皆様にぜひご利用頂きたいと思っております。

三重大学 地域イノベーション学研究科長 小林 一成 Kobayashi, Issei

